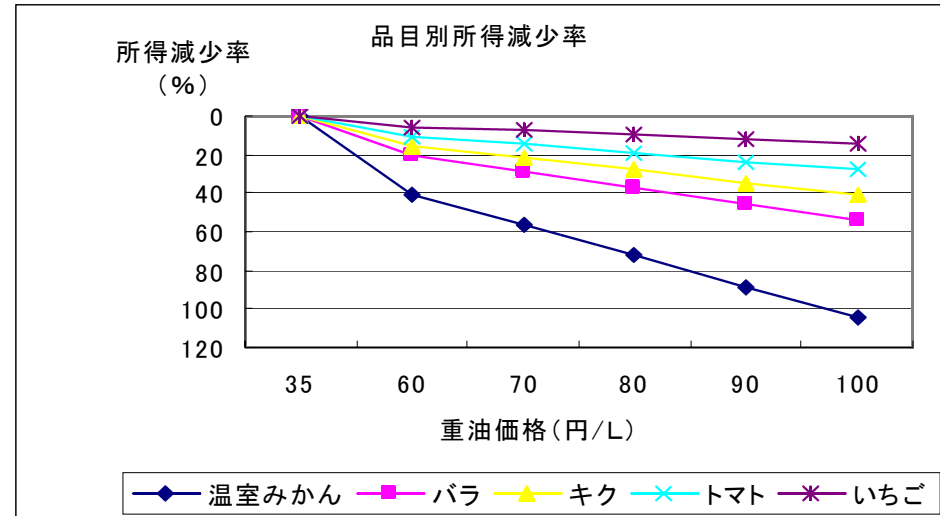


原油価格高騰を巡る状況

平成20年7月
東海農政局

(3) 農業所得への影響

重油価格の高騰による農業所得への影響は、温州みかんや花きにおいて、顕著である。特に、温州みかんは、永年性作物のためトマト等と異なって作型等を変えることは困難で、また、JA蒲郡市の温室みかんは市場評価が高く全国の温室みかん全体の価格形成維持の役割を担っている。



資料：愛知県農業総合試験場「石油価格等高騰対策技術」（平成17年10月）を基に作成

施設園芸農家数の推移

単位：戸、%

(4) 施設園芸農家戸数の推移

施設園芸農家数については、東海は全国に比較して野菜、果樹の部門で減少率が高い。
 しかしながら、重油価格高騰の影響により、温室みかんの栽培面積が急激に減少傾向にある産地もあり、今後は花き部門においても農家戸数の減少が懸念される。

		13年	15年	17年	17年/13年
野 菜	全国	207,383	199,510	194,795	83.9
	東海	12,978	11,474	10,762	82.9
	岐阜県	3,174	2,090	1,744	54.9
	愛知県	8,569	8,637	8,256	96.3
	三重県	1,235	747	762	61.7
花 き	全国	59,354	54,654	51,293	86.4
	東海	7,390	7,484	7,408	100.2
	岐阜県	556	490	455	81.8
	愛知県	6,431	6,773	7,729	104.6
	三重県	397	221	224	56.4
果 樹	全国	27,073	27,140	26,482	97.8
	東海	1,012	964	904	89.3
	岐阜県	13	17	8	61.5
	愛知県	857	864	811	94.6
	三重県	142	83	85	59.9

資料：「園芸用ガラス室・ハウス等の設置状況」（平成19年1月）（農林水産省生産局）

ハウスみかん結果樹面積

単位：ha、%

	16年	17年	18年	19年	19年/16年
全 国	1,170	1,100	960	848	72.5
愛知県	173	167	140	129	74.6

資料：農林水産省統計部

2 管内の施設園芸への影響と対策等

(1) 農家段階における対応

①施設管理の改善

- ・効率的な施設管理（ハウスの隙間を埋める等）
- ・設定温度を下げる。又は、変温管理。この場合、品質を下げる可能性がある。

②省エネ施設装備の導入

多層被覆、循環扇、排熱回収機、ヒートポンプの導入や高効率暖房機への更新。

③品種の転換、無加温栽培

④作目の変更、栽培面積の導入

(2) 補助事業の活用状況

暖房機への更新。特に、19年度第三次（12月）募集から新たにNEDO事業対象となったヒートポンプについては、ばら農家を中心に活用されている。

3 農業団体、自治体の動き

(1) 各県の動き

- ・愛知県は、本年8月18日に農林水産部長をキャップとした愛知県農林水産業原油等価格高騰対策会議を立ち上げる予定。
- ・愛知県は、本年2月、農林水産省に対し、指定産地内の農家に重油代を支援する新たな制度の創設を求める政策提案を行った。

(2) 市町村の動き

- ・蒲郡市は、排熱回収装置の導入に対し5万円/台の助成（H17～H20）。JA蒲郡市は、重油購入費に対し補助（H17～H18）したほか、3重被覆等に対し6万円/10aの補助（H18～H21）。
- ・田原市では、ヒートポンプ導入に対し1割の補助。

(3) 農業団体の動き

- ・JAグループ岐阜、JAグループ三重が、それぞれ県選出国會議員に資材高騰に係る緊急要請を行った。JA岐阜中央会は、「消費者に生産コスト上昇分を負担して貰えるような仕組みをお願いしたい。」と訴えた。（7月17日：日本農業新聞）
- ・JAグループ愛知は、7月11日JA農政研修会で、生産コスト上昇を適正に販売価格に転嫁できる仕組みの創設や品目別の再生産基準価格と販売価格との差額を補てんする価格安定制度の創設を訴えた。（7月12日：日本農業新聞）
- ・「農家は、ミカンやトマトのハウス栽培から肥料代等がさほどからない別の作物へと転換する必要がある」
- ・「原油価格が高騰しもはや厳しいどころではない、危機的状況にある」
- ・「農作物の販売価格への転嫁は難しい。作物の作付け制限を組織的に打ち出すことも検討する必要があるのかもしれない。また、マスコミを通じて重油を使用する施設園芸に対する不要論を言い出さないかと心配である。」（JA幹部）

NEDO事業によるヒートポンプ認定状況

単位：ha、%

作 目	栽培面積	19年度延面積	20年度延面積	割 合
ば ら	87	4	7.3	12.9
温州みかん	174	—	3	1.7
トマト+大葉	736	0	3	0.4

資料：NEDO事業の計画認定資料等（東海農政局）

4 要望等

- ・強い農業づくり交付金事業を活用して、被覆材、多段式サーモ、排熱回収装置、循環扇の導入の要望がある。
- ・ヒートポンプ導入への要望は強いものがある一方、システムの改良を望む声がある。
- ・ヒートポンプを活用した循環温水加温システム（エコキュート）の実証・検討を望む声がある。

5 その他

- ・平成18年度先端技術を活用した農林水産研究高度化事業において、「東海地域における原油価格高騰施設園芸技術の開発」（東海農政局提案）が新規採択される。
- ・平成19年11月、局長が田原市現地調査の際、ヒートポンプ導入を求める強い要望が出された。これを受けて東海農政局より本省に要請を行った結果、ヒートポンプをメニューに加えたNEDO第3次事業（平成19年12月公募）が実現した。
- ・引き続き、本年3月に開催した地方農政局長等会議においても東海農政局から原油価格高騰対策の政策提案を実施した。